



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成 29 年 1 月 20 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ
団体名
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

ツバサ・フリス・をイカへノ・ミト
ドワ・ワウン・ダ・ノ・ト・ガ・ワ・チ・ビ・ス・ト・カイ
坪田譲治の生家への道と
童話を生んだ能登川を整備する会

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	坪田譲治の生家跡地のPRと関連する施設の整備
事業実施小学校区・地区	石井小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 3 回目 / 【27年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 昨年同様、石井学区にある岡山市名誉市民の童話作家、坪田譲治の生家跡地の存在があまり生かされていない。もとPR事業により、駅西地区の街づくりにつなげた。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 ① 石井学区から岡山市内へとPRの輪を広げる事により、坪田譲治の名声をもっと広める。 ② 坪田文学の普及活動に努める。 ③ 能登川(鼻知川)を整備する事により、環境面等からも街づくりの一環になるようつなげた。 ④ 最終的に、岡山駅西地区の発展につながり、石井学区は坪田譲治の街といわれるような街にした。

事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 1. 会議の実施 2. 生家跡地の清掃 3. 能登川の魚類等の調査 4. 能登川の川掃除 5. 護治のゆかりの地を歩会の実施 (朗読会を取り入れる) 6. フラジを作成し、PR活動を実施 7. のぼり旗を作り、学区内に立てる 8. 関連団体との協力関係を構築 9. 岡山市への働きかけ ① 駅前口と生家跡地にゆかりの地をしろした地図看板の設置 ② 能登川の護岸に養魚ネットの工事 ③ 石井小学校前の歩道に護治に関するモニュメント設置物をつくり、設置
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 学区民及び岡山市民に坪田護治をもっと知ってもらふ事を最大の目標にしている。数値的な目標は評価が難しいが、活動の輪が広がる事により、坪田文学の普及、岡山駅西地区の街づくりにつながればと考えています。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 学区内の各種団体を本会の構成員にしている事で、みんなで行く事も容易い。又、事業を実施するにあたり、岡西公民館の地区担当職員の協力も受けている。
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 関連する団体として、「坪田護治を顕彰する会」、「子どもの館」、「善太と三平の会」、「石井小学校」、「石井小学校PTA」、「石井学区地域協働学校」等があり、護治に関する行事を実施する際は、共催・後援等の協力関係を築いている。
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 1. 岡山市が必要に応じて、市民協働推進ポータルサイト「つながる協働ひろば」に掲載 2. 町内会を通じ、一年の活動内容を回覧 3. 必要に応じて、PRフラジを作成し、配布

学区・地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。
前年度からの見直し・拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。 役員は半数は別団体の坪田譲治を顕彰する会の会員になり、協力関係をより強いものにすると、全員が会員になるようすすめていきたい。又、新しい試みとして、のぼり旗を学区内に立てる予定です。
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 目的が達成されるまで活動は継続します。 ②資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	今年度は、今後以上にPR活動に力を入れたい、石井学区から岡山市へ広げるステップの年になると考えております。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	○役員会(総会)
5月	○熊鷹川お魚部隊
6月	○生家跡地清掃 ○執行部会
7月	○浪速ターフ春遠征から広報活動
8月	○研究と地域協働実践行事で広報活動 ○執行部会
9月	○石井管内各会場で広報活動
10月	○熊鷹川の川掃除 ○生家跡地の清掃 ○執行部会
11月	○のぼり旗を学区内に立てる
12月	○執行部会
1月	○岡山市内に向けた広報活動 (内容は執行部会で決定)
2月	○執行部会
3月	○ゆかりの地を歩く会(子どもの節に朗読も取り入れる) ○学区内に1年間の活動状況を配布

収 支 予 算 書

◆収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	75,800	97,200	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金			
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入	75,834	97,300	
計	151,634	194,500	

◆支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	40,000	98,500	歩合会費 ① 9,200 × 200 = 1,840,000 ② 9,200 × 20 = 184,000 ③ 9,200 × 20 = 184,000 ④ 9,200 × 20 = 184,000
食糧費	57,684	42,000	
印刷製本費	38,540	38,500	歩合会印刷費 30,000 お昼調査費 8,500 他
通信運搬費	410	500	切手 ① 812 × 7 = 5,684
報償費	10,000	10,000	お昼調査費
保険料	5,000	5,000	お昼調査費 1,000 歩合会 4,000
計	151,634	194,500	行事 19,717 お昼代 ① 150 × 180 = 27,000 会議 19,717 お昼代 ① 150 × 100 = 15,000

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。